

資料検索機[OPAC]を使って探す

館内にある検索機や長崎市立図書館のホームページから、長崎市立図書館で所蔵している図書を検索することができます。タイトルが分からなくても、調べたい事に関するキーワードを入れて検索すると、関連する図書や雑誌などを探することができます。



※検索機の検索条件で

「キーワード」を選び、
「医薬品」「漢方薬」などの
検索語を入れてみましょう。

※検索機は1、2階どちらのフロアにもあります。

2階の設置場所は裏面の図をご覧ください。

※長崎市立図書館のホームページのアドレス

<http://lib.city.nagasaki.nagasaki.jp/>

インターネットを使って探す

図書館2階のパソコンコーナーでは、インターネットによる情報検索が無料でできます。

※印刷することはできません。閲覧のみです。

医療・健康に関する分野は、次々と新しい情報が発信されます。特に、インターネットは手軽に調べることができて便利ですが、質の良い情報も悪い情報も混ざっているため、注意が必要です。詳しくは、医療・健康情報パスファインダー①「医療・健康情報を見極めるポイント」をあわせてご覧ください。

調べてみたけれど、わからない。
そんな時は・・・

2階 レファレンスカウンター

へお越しください。

レファレンスカウンターでは、
図書館の資料や商用データベース等を使って、
みなさまの調べ物のお手伝いをします。
「どの本に載っているかわからない」
「本の探し方を教えてほしい」等、
お気軽にご相談ください。

※ご相談内容等、図書館利用上の
個人情報厳守します。



医療・健康情報サービス利用上の留意事項

1. 特定の治療法、薬を薦めるものではありません。
2. 特定の病院、医師を薦めるものではありません。
3. 病気に関する情報・知識は常に変化していますので、図書館の情報が全てではありません。
4. 皆さまの求める情報・知識と完全に一致するものが得られるとは、限りません。
5. 図書館員は、医学の専門家ではありませんので、病気の診断や治療について判断を必要とする問題には回答できません。

薬

について調べたいとき

薬の効果とは？

どんな種類があるの？

薬について調べたいときに、
手がかりとなるような本を
ご紹介します。

【お問い合わせ】

長崎市立図書館

〒850-0032 長崎市興善町1-1 電話:095-829-4946

<http://lib.city.nagasaki.nagasaki.jp/>

医療用医薬品について調べるときには

(医療用医薬品：医療機関で診察を受けたときに医師から処方される医薬品)

『JAPIC 医療用医薬品集 2016』参考資料 R499.1/ジ

日本医薬情報センター／編集、日本医薬情報センター、2015年
平成27年7月2日現在、医療の現場で使用されている医薬品及び供給が予定されている医療用医薬品の効能・効果、用法・用量、添付文書記載内容などを掲載。50音索引等も収録。

『医者からもらった薬がわかる本 2016-2017年版(第30版)』参考資料 R499.1/イ

医薬制度研究会／著、法研、2016年
医者から処方されることが多い約12,000品目の内服薬・外用薬・一部の注射薬・漢方薬について、薬を安全に使用するために必要な情報を網羅。

『今日の処方 改訂第5版』参考資料 R499.2/コ

浦部 晶夫ほか／編集、南江堂、2013年
内科を中心とし、一般医家が多く診療する疾患をもれなく集め、すぐれた最新の処方をまとめた書。薬剤相互作用や禁忌・副作用など注意すべきポイント等を記載。

『投薬禁忌リスト 平成28年版』参考資料 R499.1/ト

医薬情報研究所／編集、じほう、2016年
原則として薬価基準に記載されている医療用医薬品で、添付文書に警告、禁忌等の記載のあるものを製品ごとにまとめ、医薬品の臨床使用にあたって「警告」や「投与禁忌」等があるか否かについての判断の一助となるよう編集されている。

一般用医薬品について調べるときに、まずこの1冊

(一般用医薬品：一般の薬局・薬店で販売されている医薬品)

『JAPIC 一般用医薬品集 2017』参考資料 R499.1/ジ

日本医薬情報センター／編集、日本医薬情報センター、2016年
現在、販売されている一般用医薬品(配置薬を含む)・要指導医薬品約11,000品目を収載。医薬品を適正に使用する為に、平成28年7月15日までに入手した添付文書情報を収集・整理し、紹介する。

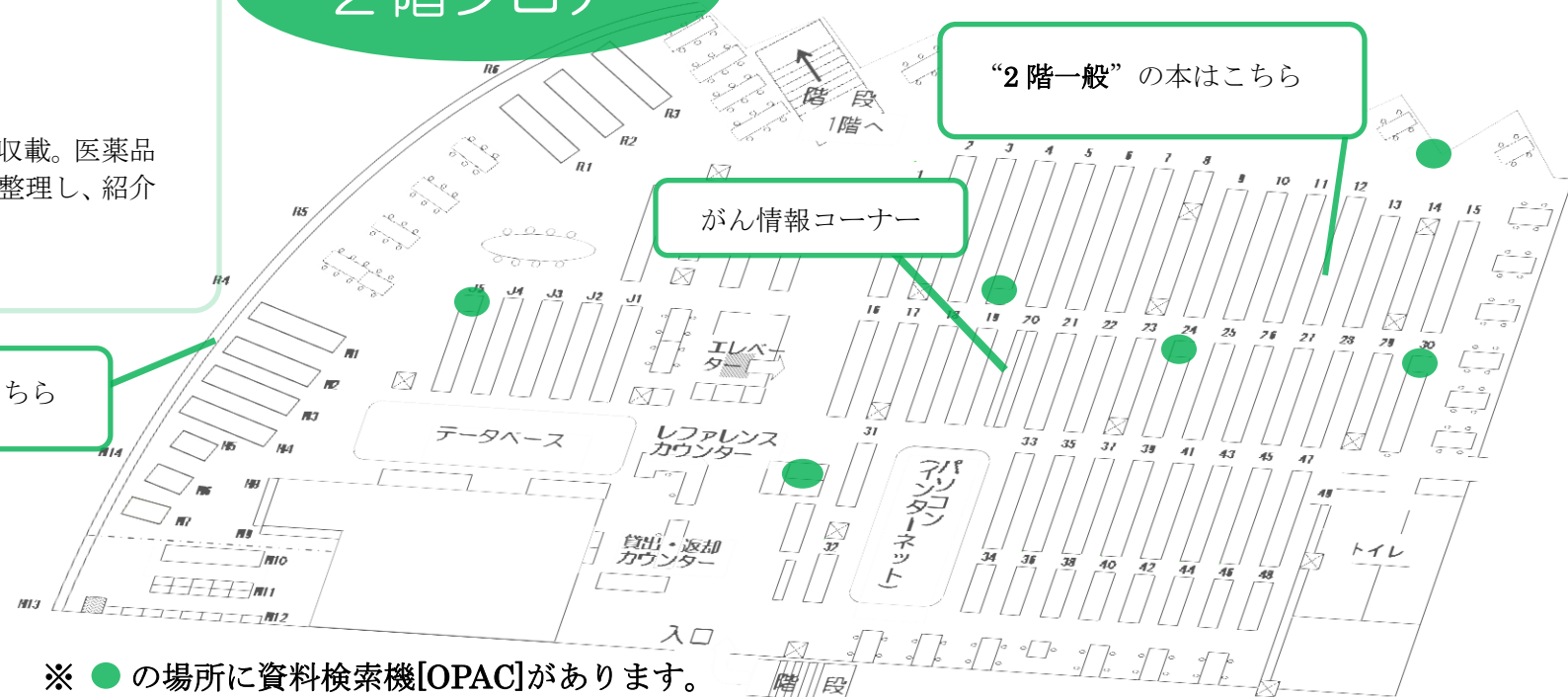


本を探すには？

本のタイトルの横に記載している499.1や364.4という数字は請求記号といい、本のテーマや、棚での並び順を記している図書館での住所です。
まずは配置場所(参考資料や2階一般の大まかな場所)へ向かい、本の背ラベルを見ながら本を探します。

“参考資料”の本はこちら

2階フロア



ジェネリック医薬品(後発医薬品)について調べるときには

(ジェネリック医薬品：

これまで使われてきた薬の特許が切れた後に、同等の品質で製造販売される低価格の薬)

『ジェネリック医薬品リスト 平成28年8月版』2階一般 364.4/ジ

医薬情報研究所／制作、じほう、2016年
先発・代表薬の名称で引けるジェネリック医薬品(後発医薬品)リスト。平成28年7月現在、厚生労働省が公開しているデータを基に、薬価基準収載医薬品を掲載。薬効分類一覧、会社名一覧、商品名索引も収録。

『今日のジェネリック医薬品 2014-2015』参考資料 R499.1/コ

増原 慶壮／編集、北村 正樹／編集、「今日の治療薬」編集室／編集、南江堂、2014年
2保険診療に用いられる医療用医薬品の中で、先発医薬品に該当するジェネリック医薬品を、2014年3月現在の内容で収録。「今日の治療薬2014」に準拠した便覧形式で、一般名・先発品名から薬価、会社名まで一目でわかる。

漢方薬について調べるときに、まずこの1冊

『漢方のくすりの事典 カラー版 第2版』参考資料 R499.8/ス

鈴木 洋／著 医歯薬出版 2011
漢方生薬を中心に、日本の民間薬、ハーブといった約780種類の生薬を50音順に収録し、個々の基原、特徴、注意点、効能、用法等を記す。漢方生薬を理解するために必要な知識や薬剤処方なども収録。